

福島県男女共生センター広報誌

未来館 miraikan news NEWS

2016
vol. 59

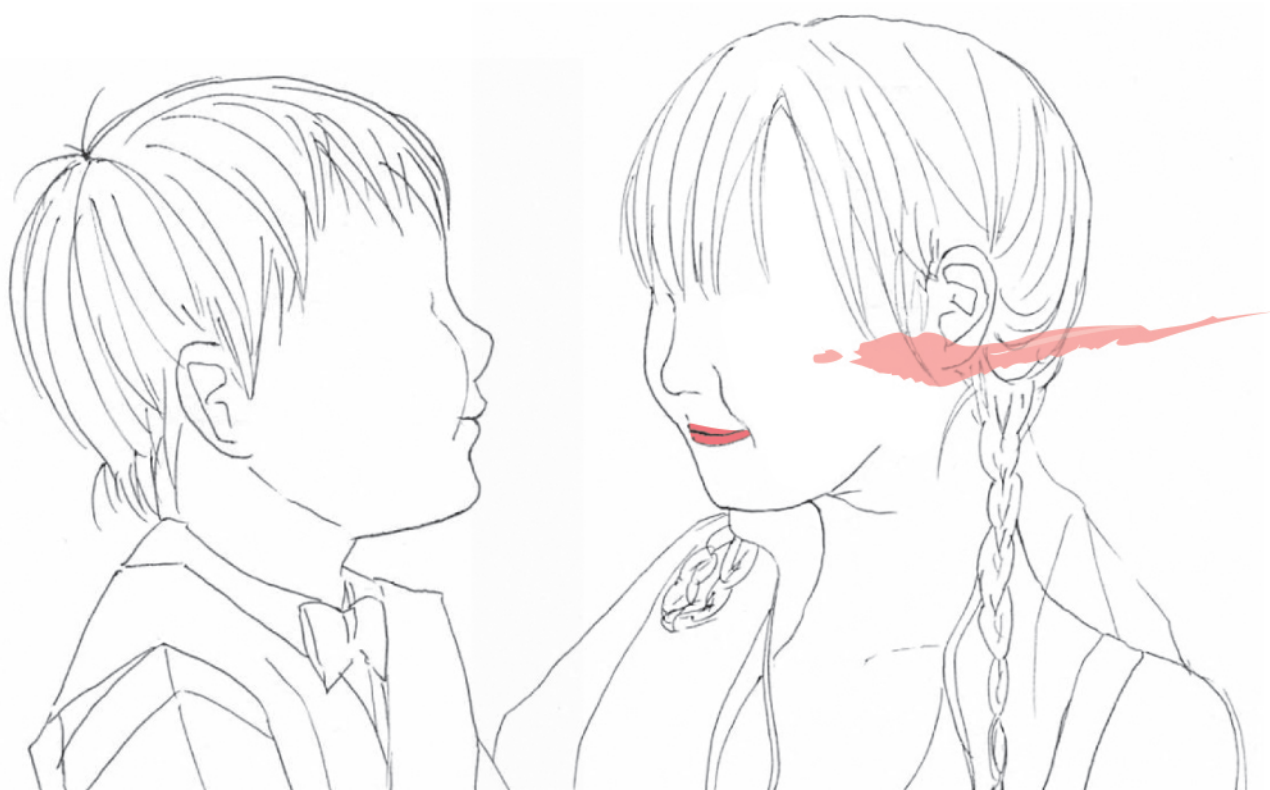
CONTENTS

女性活躍推進法が施行
されました

福島のきらめく人

未来館フェスティバル 2016 開催

福島県からのお知らせ 他



福島の きらめく人

今回は、東日本大震災（以下「震災」）後「福島に笑っている親子を増やしたい。」とNPOを立ち上げたNPO法人「OYAKODO ふくしま」の代表理事横田智史さんにお話を伺いました。様々な事業を通して子育ての楽しさを伝えたいと活動しています。

■ NPO 法人「OYAKODO ふくしま」を立ち上げたきっかけ

震災直後から自身のブログで呼びかけ、各地に支援物資を届ける活動をしていました。その後、継続的な活動がしたいと考え、自分が携わっている保育や教育に関する講演会をやると思いつきました。所属していた「ファザーリング・ジャパン」(以下「FJ」)の理念や活動を通して、震災後の今だからこそ、「笑っている親子でいようね。」と伝えたいと思いました。そこで、一番最初にFJ代表の安藤哲也さんに講師を依頼し、福島市で「パパセミナー」を開催しました。参加者30名中28名が子育て中の女性で、男性を集めることがこんなに難しいのかと初めて知りました。だからこそ、子育ての楽しさをパパたちにも伝えていきたいと思い、「OYAKODO ふくしま」を立ち上げました。

「OYAKO」はローマ字です。英語に該当する単語はありません。日本特有の関係を表す言葉で、震災後、もう一回親子という関係を見つめる機会にして欲しいという思いから名付けました。また、「DO」は「道」という字と「アクションをする」という掛詞になっています。

■ 「OYAKODO ふくしま」の活動内容

子育て講演・セミナー、食農プロジェクト、絵育プロジェクトの3つの事業を軸に活動しています。1つ目の子育て講演・セミナーは、私が講師を務め、楽しく子育てをするための様々な知識・仕事や家庭の両立等のお話をしています。2つ目の食農プロジェクトは、須賀川にある設楽農園で水と土と太陽を感じながら農業体験をします。3つ目の絵育プロジェクトは、福島市在住の絵本作家のあきばさんと一緒にパステル画教室や工作をする活動です。食農プロジェクトと絵育プ



横田 智史さん (センターでの講演の様子)

ロジェクトはセットで行うことが多く、親子で「時間」「空間」「体験」を共有します。例えば、キュウリやネギなどを収穫する農業体験をした後に、絵育プロジェクトでその収穫したキュウリやネギの絵を描いたり、粘土で作ったりします。その後はおいしくいただけます。設楽農園の設楽さん、絵本作家のあきばさんにNPOを立ち上げるときに、「親子で共有する時間を作りたい。」と相談し、一緒に活動することになりました。それぞれの得意分野を生かしながら活動しています。

■ 今後取り組んでいきたいこと

現在でも他団体と連携してイベントを実施していますが、県内外の様々な団体と連携して事業を展開していけたらいいと考えています。各団体の活動を持ち寄ってかけ算で行えば、新しいイノベーションが生まれ、今、福島県が抱えている課題を解決できるかもしれない、だから、積極的に取り組むべきだと思います。

その他、「笑っているパパたちを増やす。」という同じ志をもった東北各県の団体が集まって、今年の2月に「ファザーリング・ジャパン東北」を設立し、共同代表をさせていただいています。子供との関わりや家庭への参画などはそれぞれ画一的ではありませんが、その家庭にあった子育てを楽しむ「オリジナルパパスタイル」を大事にしようと活動しています。

私たちの活動を通して、たくさんの笑っているパパたちが増え、楽しく子育てができる環境になっていくように活動を続けていきたいです。

横田智史さんプロフィール

株式会社ペンギンエデュケーション 代表取締役
NPO法人OYAKODOふくしま 代表理事
NPO法人ファザーリング・ジャパン東北 共同代表理事等多数
連絡先：〒960-8163 福島市方木田字北白家5-2
携帯：090-5188-1969
E-mail：s.yokota@mountain.ocn.ne.jp

未来館フェスティバル 2016 開催

今年度は、「あなたの今が、未来につながる」をテーマに開催します。

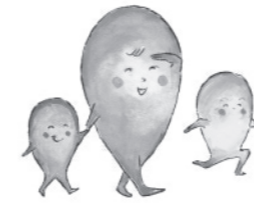
開催日 9月10日(土) 11日(日)

内容 10日(土) 認知症介護セミナー 午前10時～正午
「地域みんなのよりどころ～『認知症カフェ』の実際とこれからの可能性」
ネットワークカフェ 午後1時30分～午後3時30分

11日(日) 県民の皆さんによる自主企画 午前9時30分～午後3時30分
シンボルイベント 午後0時30分～午後2時30分

水無田 気流(みなした きりう)さん講演会
「『居場所』のない男、『時間』がない女～生きにくい世の中を変えるヒント」

その他、スマートボール大会、バルーンアートなど親子で楽しめる企画を予定しています。フェスティバルの情報はセンターのホームページやFacebookで随時お知らせいたします。是非、ご参加ください。



問い合わせ 《認知症介護セミナーに関する問い合わせ》
◆ 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
介護実習・普及センター ☎0243-23-8306

《その他の問い合わせ》
◆ 福島県男女共生センター 事業課 ☎0243-23-8304



福島県からのお知らせ

「ふくしまから チャレンジ 人権スペシャルマッチ」開催

ふくしまから チャレンジ
人権スペシャルマッチ
みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 思いを認め合おう～
小学生以下 無料
2016 8/21 13:00 試合開始 (11:00開場)
白河グリーンスタジアム (白河市白坂牛清水117)
試合当日、人権イベントも開催します。
福島県・福島県地方自治体・福島県人権擁護委員連合会・福島県人権啓発活動ネットワーク協議会
ひとりで悩まず相談してください。
子どもの人権110番(通話無料) 0120-007-110
みんなの人権110番 0570-003-110

- ★ ルートインBCリーグ公式戦 福島ホープスVS読売ジャイアンツ
- ★ 来場先着300名様に人権スペシャルマッチ限定「Tシャツ」プレゼント!
Tシャツがなくなり次第、先着700名様に人権スペシャルマッチオリジナル「缶バッジ」プレゼント
- ★ 試合当日、人権啓発イベントを実施します。

日時 平成28年8月21日(日)
11:00 開場 13:00 試合開始

会場 白河グリーンスタジアム
(白河市白坂牛清水117)

問い合わせ 福島県男女共生課 ☎024-521-7188

福祉機器を展示しています！

福祉機器展示室では、福祉用具やユニバーサルデザイングッズを「見て、触れて、体験する」ことができます。900点以上の福祉用具等を展示し、介護や住宅改修に関する相談もお受けしています。今回は、展示している福祉用具の中から2つ紹介します。

● ロボットアシストウォーカー

歩行を電動でアシストし、坂道も安全・快適に上り下りできます。最近メディアでも紹介されました。



● 助聴器や耳もとスピーカー

聴き取りにくい小さな音が大きく聞こえます。補聴器を使うほどではないけれど、聴き取りにくい方ぜひお試しください。



問い合わせ 福島県男女共生センター 福祉機器展示室 ☎0243-23-8316

災害避難者の方へ

「宿泊料助成事業」をご利用ください。

当センターでは原子力災害により、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村から避難している方を対象に、**当センターに宿泊した際の料金を割り引いています。**

家族・親族・友人との交流や地域行事等に参加するため宿泊する場合は、料金が安くなります。(予約時にあらかじめ申し出てください。)

1 宿泊時にご提示いただく書類等

受付時に**罹災証明書**及び**運転免許証**又は**健康保健証**をご提示いただき、確認させていただきます。

2 宿泊料

1室1人で宿泊する場合：1泊**3,000円** (通常料金：4,300円)

1室2人以上で宿泊する場合：1人当たり1泊**2,600円** (通常料金：3,900円)

予約受付 福島県男女共生センター 受付 ☎0243-23-8301

福島県男女共生センター 広報誌

未来館 NEWS

2016
vol. 59

※当センターに対する御意見・御質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

(公財) 福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター (女と男の未来館)

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目 196-1

TEL (0243)23-8301 (代) FAX (0243)23-8314

ホームページアドレス：http://www.f-miraikan.or.jp

メールアドレス：mirai@f-miraikan.or.jp

女と男の未来館

SEARCH